

マツダブルーザーズ (Host)			釜石シーウェイブスR.F.C. (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PT		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
アシスタントレフリー

マツダブルーザーズ						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	加藤 滉紫		23	172/90	専修大学松戸高校 → 天理大学
2	HO	北林 佑介		24	172/104	東海大仰星高校 → 帝京大学
3	PR	高見 優太		28	175/105	神戸科学技術高等学校 → 大阪体育大学
4	LO	西野 嘉修		26	185/94	大阪桐蔭高校 → 中央大学
5	LO	フィル・ポットギータ	E	24	193/106	トゥーンバグラマースクール → クイーンズランド大学
6	FL	芦田 朋輝		24	183/105	名南工業高校 → 愛知工業大学
7	FL	武田 知大		23	175/90	尾道高校 → 京都産業大学
8	No.8	リチャード・スケルトン	E	24	194/114	パトリックスカレッジ
9	SH	後藤 大		26	166/73	東福岡高校 → 立命館大学
10	SO	サム・クリステイ	E	33	181/90	ハミルトンボーイズ高校
11	WTB	中野 豪		23	170/87	常翔啓光学園 → 天理大学
12	CTB	植松 真吾		29	176/85	貞光工業高校 → 日本体育大学
13	CTB	ジョー・カマナ	E	28	198/98	フェイザー高校
14	WTB	北島 遥生		24	172/66	常翔学園 → 法政大学
15	FB	崎口 銀二郎		25	175/75	大阪桐蔭高校 → 同志社大学
16	Re.	永田 亮		24	168/76	長崎北陽台高校 → 同志社大学
17		ナカンダカリ 雄一		25	170/110	読谷高校 → 朝日大学
18		大木 文典		32	178/120	国学院栃木高校 → 帝京大学
19		南 宗成	A	27	186/105	大阪朝鮮高校 → 明治大学
20		辰川 翔		30	180/84	広島工業高校 → 日本体育大学
21		森 悠記		31	165/70	東山高校 → 関東学院大学
22		後藤 大輔		25	172/73	常翔学園 → 天理大学
23		中本 圭介		27	180/83	流通経済大学付属柏高校 → 立命館大学

釜石シーウェイブスR.F.C.						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	高橋 拓也		27	172/104	黒沢尻工業高校
2	HO	吉田 竜二		31	175/101	近畿大学付属高校 → 拓殖大学
3	PR	モーガン・ミッチェル	E	26	173/110	ゴア高校
4	LO	上田 有人		25	183/106	東海大学付属仰星高校 → 明治大学
5	LO	山田 龍之介		28	187/105	大泉高校 → 立教大学
6	FL	コーリー・トーマス	E	25	194/114	ギルフォードグラマー高校
7	FL	ケイン・コテカ	E	25	182/101	アランモア カトリックカレッジ
8	No.8	中野 裕太		30	180/104	東筑高校 → 早稲田大学
9	SH	南 篤志		26	174/78	清真学園高校 → 慶應義塾大学
10	SO	中村 良真		25	172/77	八戸西高校 → 帝京大学
11	WTB	小野 航大		28	170/81	磐城高校 → 東海大学
12	CTB	伊藤 優駿		25	167/84	札幌山の手高校 → 白鷗大学
13	CTB	ヘルダス・ファンデンヴォルト	E	24	184/104	モニュメント高校 → ヨハネスブルグ大学
14	WTB	加賀 亮太郎		24	173/81	宮古高校 → 東海大学
15	FB	ユーゲン・フィサー	E	30	191/95	パールジムナジウム高校
16	Re.	伊藤 大輝		25	177/103	若狭東高校
17		延田 朋樹		23	170/93	金光藤蔭高校 → 大阪産業大学
18		佐々木 和樹		29	181/119	盛岡工業高校
19		木村 優太		28	180/95	宮城水産高校 → 山梨学院大学
20		王野 尚希		23	175/100	東海大学付属相模高校 → 東海大学
21		村山 千里		19	160/67	洛北高校
22		村田 オスカロイド		25	173/87	フレッシュウォーター高校 → 東海大学
23		村井 佑太郎		27	176/75	秋田工業高校 → 明治大学

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』